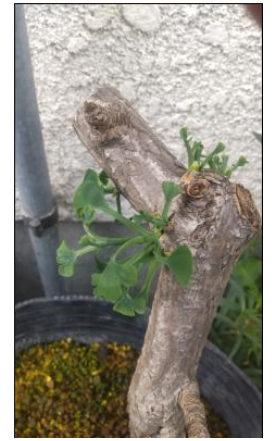


●イチヨウの挿し木新芽が出てきました。

昨年岐阜県を幹部研修会で訪れて岐阜羽島市イーエスピー社の社長江崎さんから大変大きい実のなるイチヨウの挿し木（藤九郎）を送っていただきました。その挿し木を金田さんが自宅の日陰で大きな植木鉢に鹿沼土・赤玉土などを用意して1か月手入れを続けていただきましたところ、5本とも新芽を出し、その後写真のように次々と芽が大きくなって根が定着したのではないだろうか判断できるところまで育てていただきました。朝水を補給すると乾燥しないようにビニールをかぶせるなど懸命なお世話を施してここまで守り育てていただきました。大変ありがとうございました。毎年6月に細やかですが植樹祭を行ってきましたので今年は丸山に植えてみましようかとの案がでています。



●ヤマトサンショウウオ生育池の巨木が倒れました。

今年(2026年)雨の降らない非常に厳しい冬を乗り越えて産卵が確認された池の横にあった大きなエノキが4月に倒木しているのが発見されました。幸い卵囊への被害は免れていますので不幸中の幸いでした。



●「いきものフェス 2026 in うみほし」丹後(宮津市)海と星の見える丘公園に行ってきました。

参加者：森島、木下、山村



2月頃に参加の呼びかけがあり、遠方でしたので大挙して出かけることに不安がありました。幸い京都縦貫高速道路を利用すると2時間余程度の時間で行けることが分かりました。丹後地方には松岡さんという凄い蝶の収集家がおいでになりますので、中学生(現在は高校生)の調査観察について教えられる予定でしたが、個人の自家用車での運行では万一の事故での対応に不安があるのでお誘いを断念して大人3人で参加いたしました。



パネルを芝生に並べました。

6時30分に集合してコース中ほどのサービスエリア「和知」で昼食弁当を買って9時ちょうどに会場に到着しました。竹ペンづくりと松かさツリーづくりの工作をメインに展示を行いました。会場の「海と星の見える丘公園」は宮津市の奥まった所、山道を登って成相山から伊根に向かって20分でした。会場に近づくと山間の平地に駐車場が沢山用意されていました。会場から離れた一番遠いところがスタッフの駐車場の為、荷物を降ろした後、木下さんが随分苦勞されました。17の出店団体の展示と合わせ、植物や景観などの観察会が行われていました。飲み物屋さんはい

イベントの時に要請されてこられるとのことでした。売店などはありませんでした。小さな池などでは八丁トンボが自然発生しているのと説明がされました。ゲンゴロウ米として販売されていた皆さんは「もう京都にはほとんどゲンゴロウを見る事が出来なくなっていますが、作っている地域(丹後)にはゲンゴロウが自然の中で自生しているのでその名前を付けてみんなで力を合わせ販売している。60歳代だと若いということが言えるのが現状で後継者が出来るが心配です。」と語

っておられました。また、龍谷大学4回生の女子学生さんは先生の勧めで15人ほどがバスで来ていました。こうした自然環境を学ぶことは大切です。京田辺市の在住者も一緒に来ていますとのことでした。里山の会の紹介をお願いしておきました。



海と星に見える丘公園 メイン広場 開園 20 周年を迎えている

出店が終わって今回の主目的の天橋立の松笠拾いに帰路に立ち寄りました。成相山の拠点でスーパーや乗船場所から松林まで1 kmを歩き公園の散歩道で木下さんと森島さんが40個ほどを拾いました。観光客が貸し自転車で往來していました。ここはクロマツ林で10mを超える高さで幹回りは2人でも届かない巨木が沢山ありました。



与謝野寛 晶子の歌碑



松かさツリー作りに夢中



成相山側の松林 この辺りで拾いました

高速道路に入りますと木下さんの乗用車は前の車を感知して車間距離を規定通りとって追従するスピードを保持ってくれる自動運転装置を働かす急発進や急ブレーキなどは全くない運転手も気疲れや体力消耗の無い大変安心できるドライブでした。天橋立から高速道路をひたすらに走って2時間程度で京田辺市に無事到着となりました。とは言っても私は天橋立での歩行距離が応えて帰宅するとボタン・キューで伸びてしまいました。

●間もなくたまねぎの収穫時期が迫ってきました。

今年は5月30日(土)に予定しています。掘りに来られた皆さんで収穫物をお分けすることにしていきますので、購入してみようとお考えの皆様は10:00から掘り始める計画ですのでお早目にお越しください。

五月に咲く木津川の花



ハナウド



カタバミ

